

群馬県 御中

分析レポート

十分な台数のEV公用車が土日祝日に自由に使えるとしたら、どのように活用できると思いますか？

PoliPoli Gov

2024年02月07日



目次

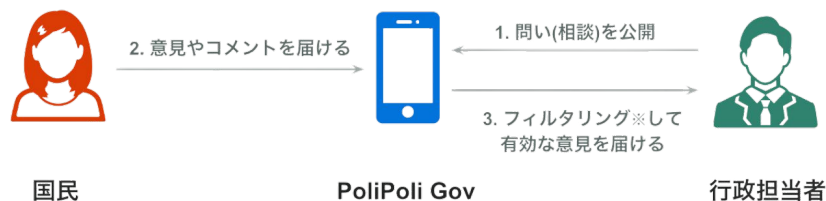
01.意見募集の概要・実施結果	P.03
02.カテゴリごとの分析	P.06
03.意見の抜粋	P.10
04.全体考察	P.15
05.付録：ワードクラウド	P.16



意見募集の概要・実施結果

- **実施内容**：EV公用車の活用に関する意見募集を行った。
- **調査方法**：デジタルツール「PoliPoli Gov」を用いたインターネットリサーチ
- **意見募集のテーマ**
 - 十分な台数のEV公用車が土日祝日に自由に使えるとしたら、どのように活用できると思いますか？
- **調査期間**：2023/09/19～2023/12/25（98日間）
- **調査地域**：全国オンライン
- **ページ閲覧数**：2,329PV
- **総コメントユーザー数**：128人（*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- **総コメント投稿数**：141件（*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）
- **回答者の属性（必須回答）**：
 - **年代**：10代以下, 20代, 30代, 40代, 50代, 60代以上
 - **群馬県との関わり**：群馬に居住・通勤・通学している, 過去、群馬に居住・通勤/通学した, 観光などで群馬を訪れた, 群馬を訪れたことはない

意見募集の仕組み

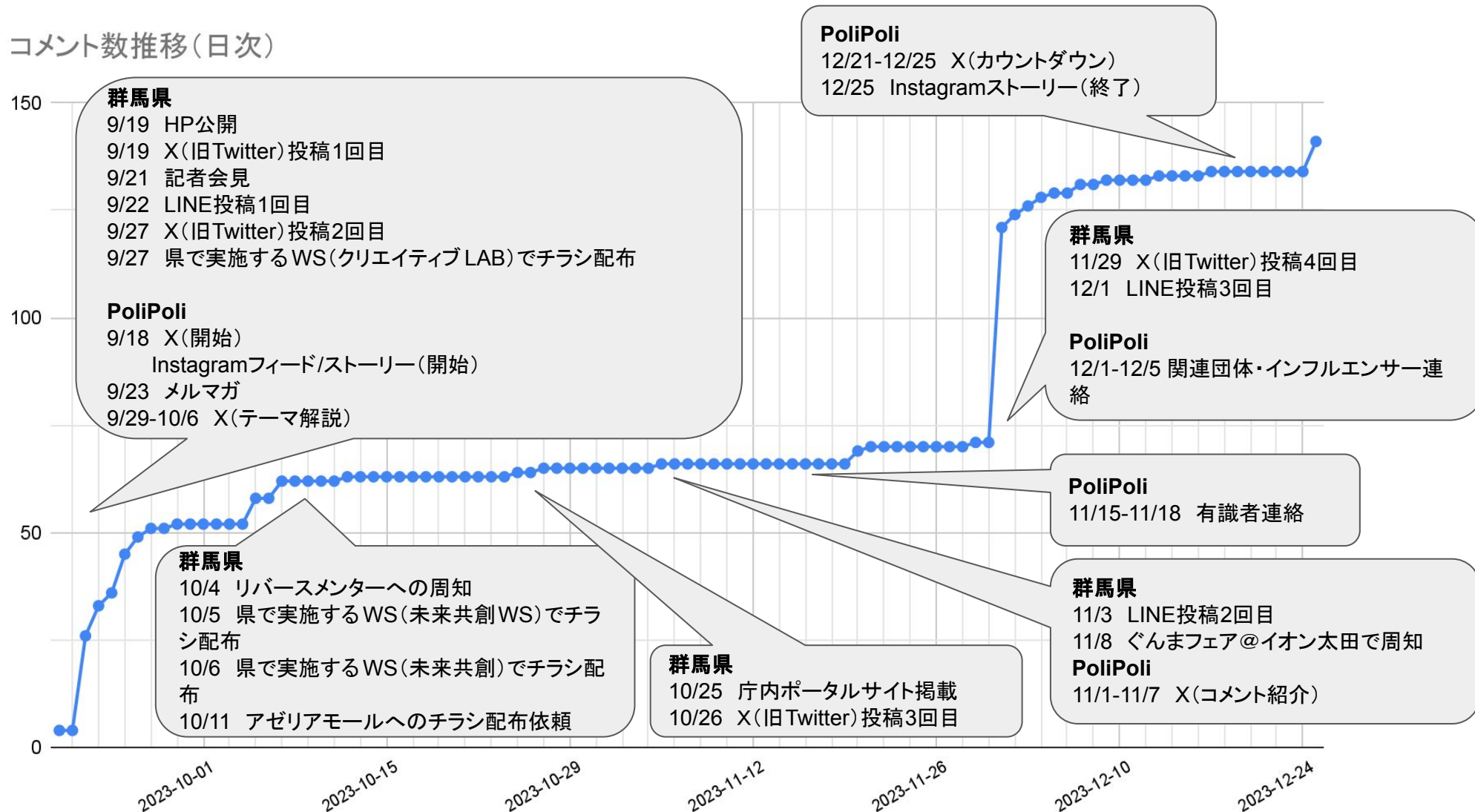


※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。



意見募集の概要・実施結果 | コメント数の日次推移

コメント数推移(日次)

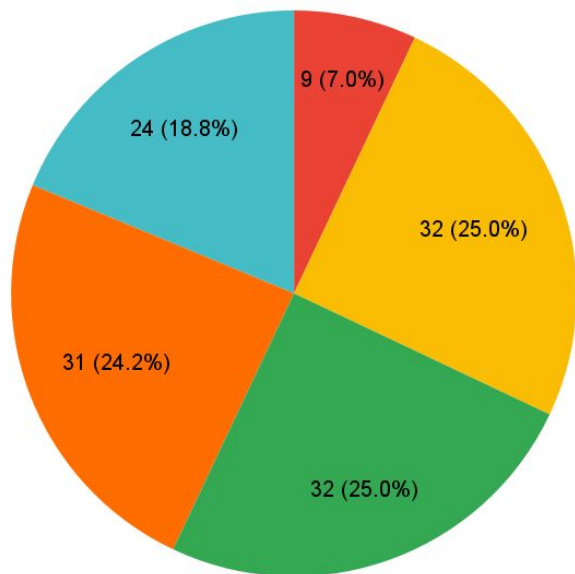


意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 回答者の年代については、20代が9人（7.0%）、30代が32人（25.0%）、40代が32人（25.0%）、50代が31人（24.2%）、60代以上が24人（18.8%）となった。また40代以下の回答者は73人（57.0%）となった。
- 群馬県との関わりについては、112人（87.5%）が群馬県に居住・通勤・通学している回答者であった。

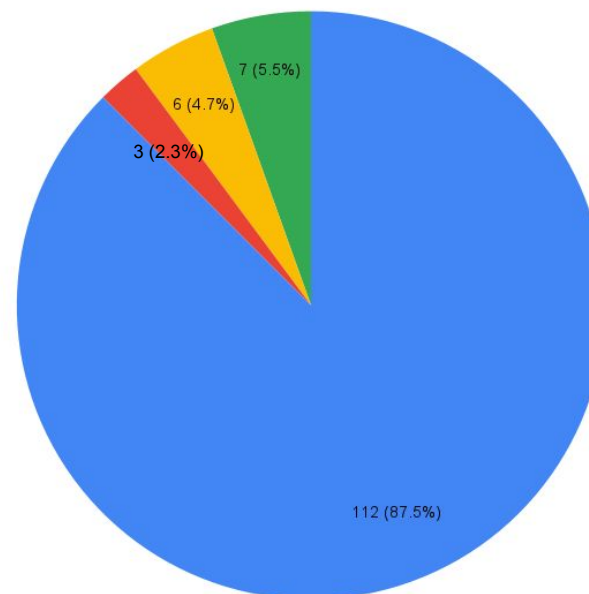
年代(UU 128人)

● 20代 ● 30代 ● 40代 ● 50代 ● 60代以上



群馬県との関わり(UU 128人)

● 群馬に居住・通勤・通学している ● 過去、群馬に居住・通勤/通学した
● 観光などで群馬を訪れた ● 群馬を訪れたことはない

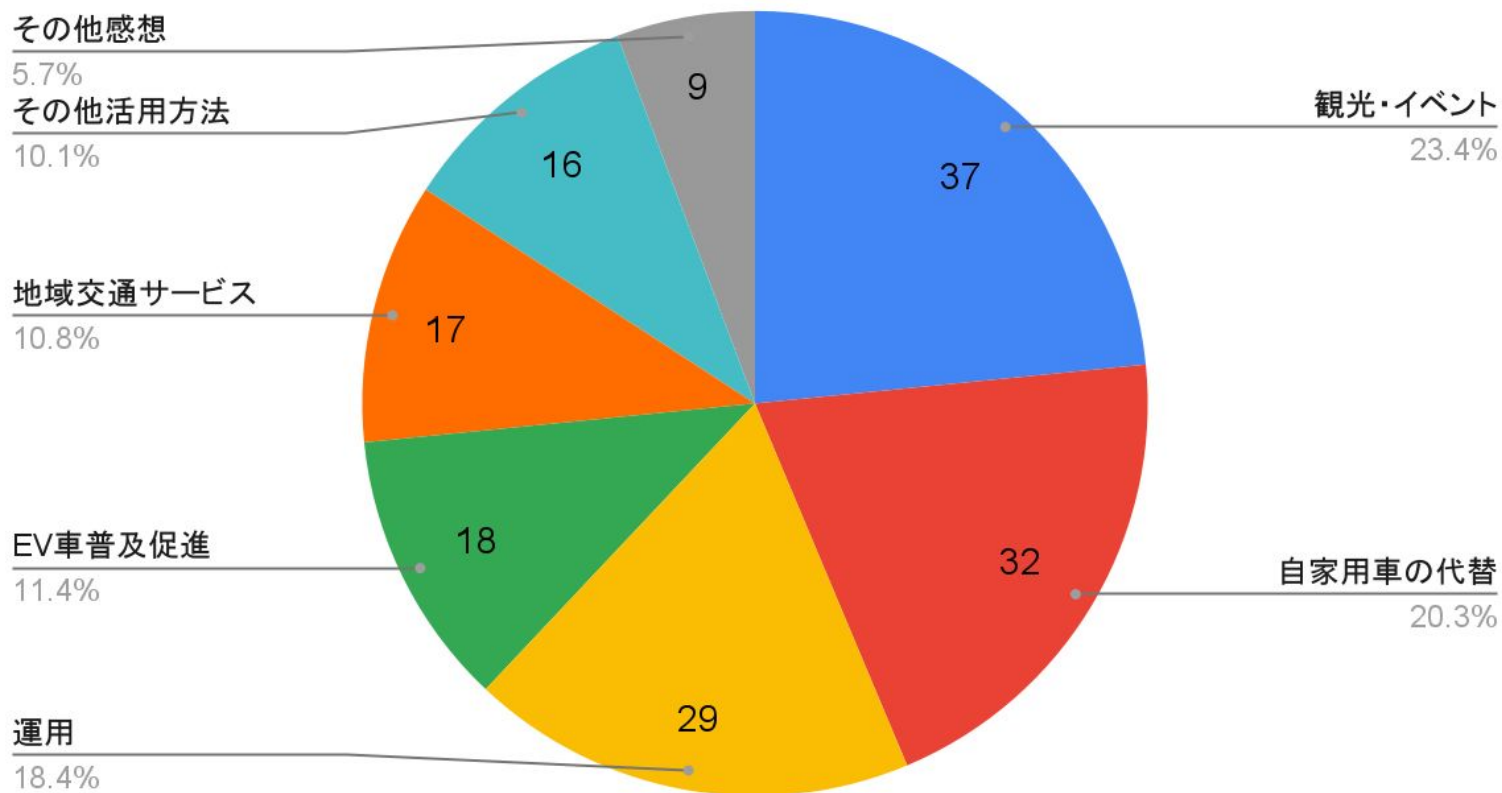


※UU=ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

カテゴリごとの分析

- EV公用車の活用方法についてコメントカテゴライズを行ったところ、以下のグラフのとおりとなった。※1つのコメントで複数カテゴライズしたものを含む。

カテゴリ別



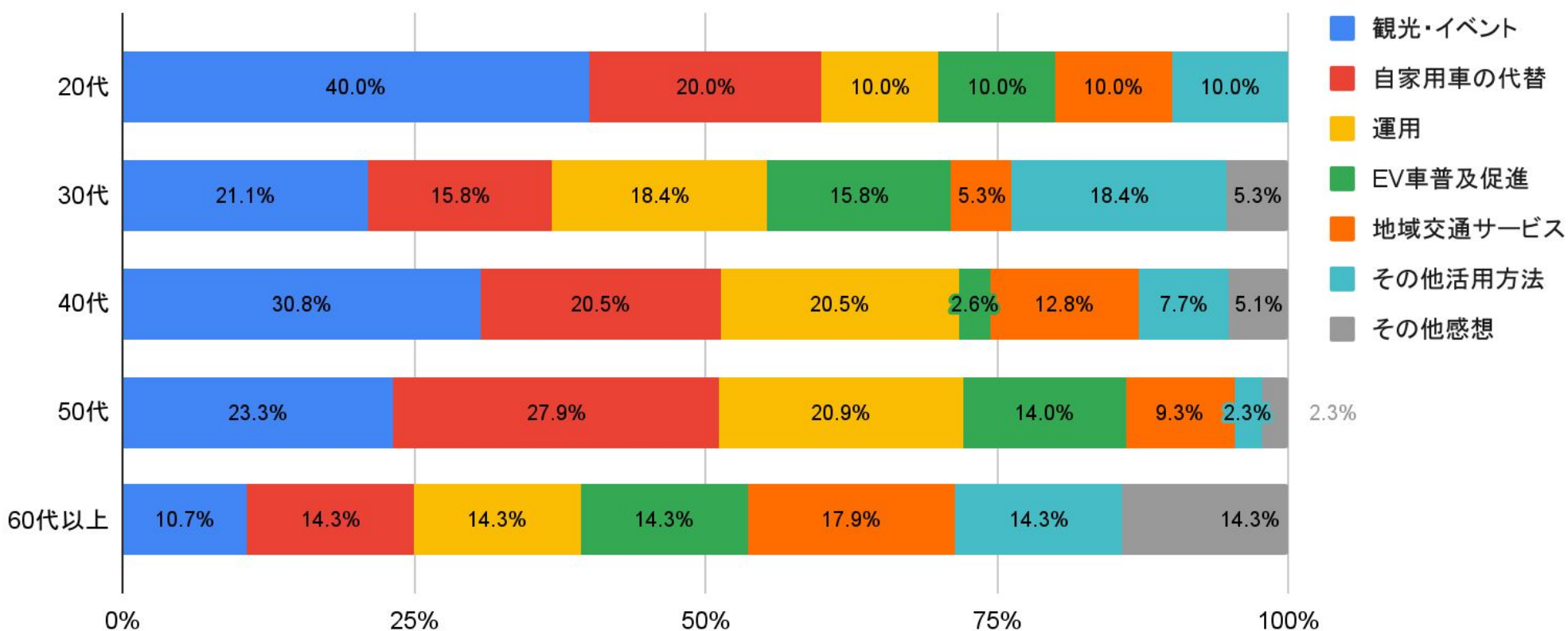
カテゴリごとの分析 | カテゴリの詳細

- **観光・イベント**
 - 観光を目的とした活用、イベント時の移動手段として
- **自家用車の代替**
 - 日常生活における自家用車の代替手段として
(買い物、荷物運搬、送り迎えなど、運転手不要の場合)
- **運用**
 - 活用アイデアではなく、運用方法に関するコメント
- **EV車普及促進**
 - EV車の利用体験や、環境問題を考えるきっかけとして
- **地域交通サービス**
 - 日常生活における公共交通機関の代替手段として
(地域の高齢者や障害者を支援するための移動サービス、乗合タクシー等、運転手も必要となる場合)
- **その他活用方法**
 - その他の活用アイデアについてのコメント (災害時の利用等を含む)
- **その他感想**
 - その他、活用アイデア以外の感想等

カテゴリごとの分析 | 年代とカテゴリのクロス分析

- 年代とカテゴリのクロス分析を行ったところ、以下のグラフのとおりとなった。

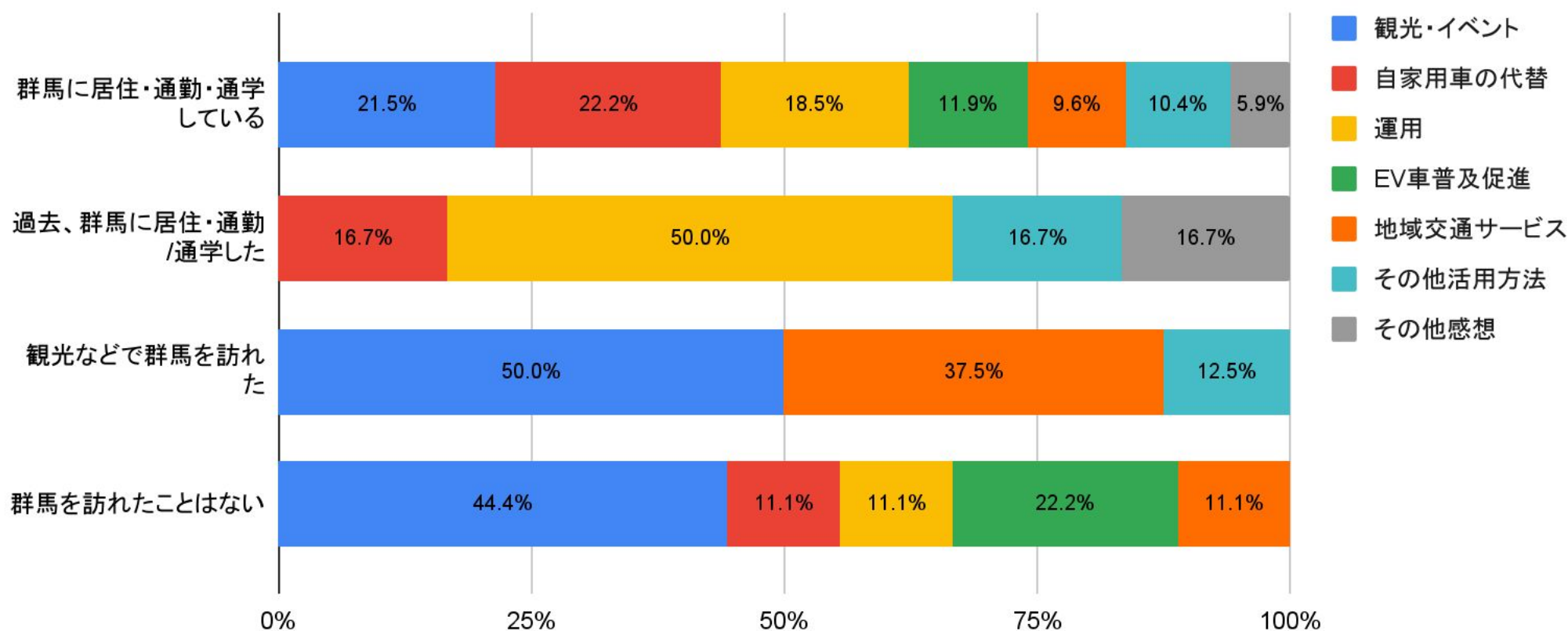
年代×カテゴリ



カテゴリごとの分析 | 関わりとカテゴリのクロス分析

- 群馬県との関わりとカテゴリのクロス分析を行ったところ、以下のグラフのとおりとなった。

群馬県との関わり×カテゴリ



意見の抜粋

【実現可能性の高いコメント】

- 中之条町で開催されている中之条ビエンナーレをボランティアとしてお手伝いしている者です。ビエンナーレは、中之条の各地に会場があることから、十分に回るには自家用車で訪れるか、シャトルバスを使うかが必要になっています。公用車のEVが活用できるようになれば、中之条駅まで電車で、その後はEVで自由に会場を回れるようになるので、来場される方の交通手段の自由度が増えますし、環境配慮にもなると思います。（群馬に居住・通勤・通学している・30代）
- 館林にはつつじの季節にたくさんの方が訪れてくれますが、館林駅から花山、茂林寺から花山など歩くには遠いので、EV車でエコをアピールしながらEVのバスやタクシーがあるとまた来たいなど思っていただけで良いです。中学校の部活の県大会などの遠征バスがEVだと嬉しいです。EV車の購入を考えている方にお試しレンタルも良いと思います。（群馬に居住・通勤・通学している・50代）
- 地域によって目的が違うと思います。都市部であれば買い物、通院等普段の足として、観光地であれば観光地間の移動用の足として使えると思います。利用が少ないようであれば、土日のみレンタカー会社に貸し出すというのも可能ではないでしょうか。なお、多目的に利用できるように、大きいEV車だけでなく、軽のEV車も導入してほしいです。スバルのEV車はデカ過ぎます。狭い道に入っていくには緊張します。

意見の抜粋

【実現可能性の高いコメント】

- 1.自動運転車の実証実験:地域内での自動運転車の実証実験を推進するための移動支援 自動運転技術のデモンストレーションやテストを地域で実施する。
- 2.ライドシェアプログラムの促進:地域内でのライドシェアプログラムの実験を開始し、EV公用車を提供して移動の手段として利用する。ライドシェア企業と提携し、地域住民や訪問者にEV公用車を提供するサービスを開始する。
- 3.地域観光の促進:観光スポットへの無料シャトルサービス提供。観光ガイド付きのEVツアーを運営する。地域特産品を扱う直売所への輸送支援。
- 4.地域農産物の流通促進:地元農家からの農産物の収集・配送サービス。 直売所やレストランへの食材供給のための物流サポート。
- 5.環境教育とコミュニティ支援:学校や地域センターでの環境教育プログラムへの移動支援。地域団体と協力して街の美化プロジェクトを推進する。(群馬に居住・通勤・通学している・40代)
- 群馬の観光地とともに充電できるポイントもパンフなどに載せ、観光ルートモデルをいくつか紹介する。 EVが使えるという紹介、宣伝だけでなく、こんな観光地があります、行けます、と紹介する。(群馬に居住・通勤・通学している・50代)

意見の抜粋

【実現可能性の高いコメント】

- 公用車ではあるが、群馬県を宣伝、アピール出来るようなイメージがあるような公用車(カーシェアリング)を検討して頂いたです。※使用側のメリット、デメリットがあると思いますが、ただカーシェアリングするのでは、もったいない気がします。(群馬に居住・通勤・通学している・50代)
- 県内・近県で災害発生時に予約受付を一時停止して電源車として派遣。(改善される事項) 災害対応及び県民と近県県民の被災時のQOLの改善(課題) 被災していない県民の利便性の低下(対応案) 理解を求める(群馬に居住・通勤・通学している・40代)
- 活用方法として考えられるのは、高齢者の移動支援のための貸出しです。移動支援を実施している民間企業に貸し出すことで、民間企業の手持ち分(車両代、ガソリン代等)を削減することができ、利用者がより安価に利用できるような仕組みづくりができると思います。(カーシェアを使用しているのに利用料が変わらないと意味がないので、企業と利用料削減の規定を結ぶ必要はありますが。) 現状貸出し台数が少ないため、上記のことは難しいかと思いますが、長期的に増やしていくのであれば、可能性はあるかと思います。ご検討いただければと思います。(群馬に居住・通勤・通学している・20代)

意見の抜粋

【ユニークなコメント】

- (EV車普及の取り組みとして) EV充電のできるスポットのスタンプラリー (群馬に居住・通勤・通学している・30代)
- 観光客(群馬の魅力を伝えてくれるYouTuberや、週末リトリート等県の施策にマッチする方々)に対して貸し出す。(群馬に居住・通勤・通学している・40代)
- 電気自動車のカーシェアは全国的に珍しいので、宣伝になると思います。前橋の街中にステーションを作って街中活性にも一役買ってもらえば良いと思います。(群馬に居住・通勤・通学している・40代)
- 走行ログを取り観光ルートなどの調査分析。(群馬に居住・通勤・通学している・30代)
- 現在準備されている自動車は高価なものだと思うが、もう少し価格の安い車種(例えば、日産サクラなど)で台数を増やし利用しやすくしてはどうか?(過去、群馬に居住・通勤/通学した・50代)
- カーシェアを利用したキャンプ企画。 電気自動車の静かさとバッテリー搭載されてることでの電化製品の利用ができるのはキャンプ初心者でも簡単に楽しめる(群馬に居住・通勤・通学している・20代)

意見の抜粋

【ユニークなコメント】

- 借りた庁舎と異なる庁舎に置くオプション。

（改善される事項）時間で課金されなくなり移動先での滞在や徒歩での周遊に時間を掛けられる。

（課題）①移動先の庁舎に置き場が無い可能性。②元の庁舎へ戻す方法。

（対応案）②システム改修を要するが、異なる庁舎に置くオプションを選択した際に追加料金5000円程度、元の庁舎に戻すと4000円程度の報奨金とする。また異なる庁舎に置くオプションを選択した際にセットで帰りの予約をすることで追加料金のおお半を報奨金で相殺できる。置きっぱなしの時も帰りの電車賃込みで手元に残る金額設定なので誰かやってくれる事を期待。確実に平日までに返す、ということでは難あり。（群馬に居住・通勤・通学している・40代）

全体考察

- 今回の意見募集では、回答者128人のうち、20代の回答者が9人（7%）と少なかったものの、30代以上の回答者については、各年代それぞれ30人前後からの回答が集まり、幅広い年代から多様なアイデアを得ることができた。
- カテゴリー結果については、**観光・イベント**（23.4%）、**自家用車の代替**（20.3%）、**運用**（18.4%）と、上位3カテゴリが6割以上を占めた。
- **観光・イベント**については、特定の場所やイベントへの具体的な活用アイデアや、県外からの観光客向けの貸出アイデアが寄せられた。
- **自家用車の代替**については、学生や単身赴任者など自動車を保有していない住民へのカーシェアリングについてのアイデアや、自動車を保有しないことによる経済的な負担の軽減についてのコメントが寄せられた。
- **運用**については、貸出方法や充電、レンタル料金についてのコメントが寄せられた。設置場所の数や利便性に関するコメントも複数寄せられた。
- **EV車普及促進**については、EV車についての疑問点解消や、乗り換えのきっかけとなるような乗車機会の提供を期待するコメントが寄せられた。また、環境問題について考えるきっかけになるとのコメントもあった。
- **地域交通サービス**については、主に高齢者や障がいのある方の移動手段としての活用アイデアが寄せられた。
- 年代とカテゴリのクロス分析の結果、20代～50代の回答者については、上位3カテゴリ（観光・イベント、自家用車の代替、運用）の合計が半数以上となった。60代以上の回答者については、地域交通サービスについてのコメントの割合が他年代より多い傾向にあり、自動車免許返納後等の高齢者向け交通サービスなど、福祉的利用への活用要望が多いことが推察される。

PoliPoli Gov